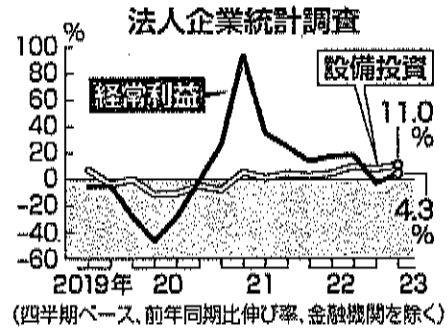


1～3月経常益4.3%増

法人企業統計

内部留保513兆円 過去最高

財務省が1日発表した1～3月期の法人企業統計調査によると、全産業（金融業と保険業を除く）の経常利益は前年同期比4.3%増の23兆8230億円でした。増益は2四半期ぶり、金額は1～3月期として過去最高となりました。インバウンド（訪日客）を含めた客数の増加で宿泊や



飲食などサービス業が増益。前年同期に燃料価格の上昇で赤字だった電気業も黒字に転換しました。非製造業の経常利益は、17.2%増の16兆2910億円。9期連続のプラスで、利益水準は1～3月期で過去最高でした。一方、製造業は15.7%減と2期連続の減益でした。パソコンやスマートフォン需要が減速しました。設備投資額は11.0%増の16兆5395億円と、8期連続プラス。自動車業界で電気自動車(EV)関連

投資が増加したことなどが寄与し、製造業は11.3%の増加。非製造業も10.8%の増加と、投資意欲が旺盛でした。財務省は「緩やかに持ち直しの動きが続いている景気の状態を反映したものと考えているが、物価上昇の影響を含め今後も企業の動向を注視していく」(担当者)としています。

◇ 金融・保険業を含む資本金10億円以上の大企業の内留保は513兆円と過去最高を更新しました。第二次安倍晋三政権が始まる直前となる2012年1～3月期の316.8兆円から1.6倍に増えました。一方、労働者の賃金は年換算で62.1万円と12年1～3月期から1.1倍の伸びにとどまります。労働者の賃金を抑制した結果、内部留保が積み上がったことにな

ります。